

# 日本共産党県委が花角知事に予算要望

## 上越地区からは、ひららぎ哲也前市議が参加

日本共産党新潟県委員会と新潟県議会議員団は22日、花角知事に對して来年度県予算に関する要望書を提出しました。植穂士自夫県委員長や渋谷明治県議のほか、ひららぎ哲也前市議（写真一番左）なども参加し、知事に對して直接要望を行いました。

要望書では、多くの県民は、県政が国の悪政の防波堤となり、柏崎刈羽原発の再稼働ストップ・廃炉、福祉・医療・介護・子育て・教育などの抜本的充実、県内



中小企業や農林水産業の振興、雇用の改善、防災・減災対策の強化、安心して住み続けられる街づくりなどの施策が強化されることを強く求めているとして、柏崎刈羽原子力発電所問題、医師・看護職員確保対策の推進と、安心の医療・介護の確立、新潟水保病問題の早期全面解決にむけた課題、子ども医療費助成及び、妊産婦医療費助成など9項目について重点要望しました。

今回の要請の中で、上越地区から参加したひららぎ前市議は、昨年1月の豪雪で海岸線沿いのバス路線が麻痺したことを指摘し、豪雪と原発事故が重なった場合のことを想定した避難対策をしっかりと考へてほしいということや、上越市にきわめて多い土砂災害危険箇所が多くで防止対策が不十分であることを指摘して、防災対策に力を入れるよう知事に訴えました。

### バランスのとれた県議会をつくらう

23日、新潟県庁において、新潟国際情報大学教授の佐々



【クサボタン】キンボウゲ科の半低木。漢字で、「草牡丹」と書きます。薄紫色の花を8月～9月頃、咲かせます。花の先端はそり返るので個性的です。花言葉は、「思慕」「感謝」。吉川区の尾神岳にて撮影しました。

木寛さんが代表を務める「バランスのとれた県議会を実現する県民の会」が、県議選の第一次推薦候補13人へ現職4人、新人9人を発表しました。そのなかには、社民党の小山芳元県議や日本共産党のひららぎ哲也前市議（下の写真右から2人目）などが入っています。

「県民の会」ではこの日、記者会見を行い、「2019年新潟県議会選挙にあたっての政策協定書」も明らかにしました。

主な内容は、①「バランスのとれた県議会を実現する県民の会」の目的に賛同し、市民と野党との共闘への協力を惜しまず、議会における与野党均衡を実現するために最大限の努力をします。②県民の声がとどく新潟県議会を実現します。③誰もが安心・安全に暮らせる新潟を実現します（東京電力柏崎刈羽原発については、現在進められている「三つの検証」がなされない限り、再稼働の議論は行いません。安倍政権下での憲法改正に反対します。災害対策に全力で取り組みます」等となっています。



### 今年の「新春の集い」は来月10日、頸城希望館にて開催

既報のとおり、今年の「新春の集い」は上野市議と共同で行います。

日時…2月10日午後3時から  
会場…頸城希望館大会議室他  
会費…1000円（懇親会）

集いでは藤野保史衆院議員が国会報告を行い、私も市議会報告を行います。また、ひららぎ哲也前市議も参加します。

参加希望の方は、2月5日までに橋爪か赤旗配達員にお知らせください。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.1894 2019.1.27**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第五四二回

## 冬の日差し

年末年始は荒れることなく、小正月を過ぎてほしいと雪が降らない。今年の冬は過ごしやすいですね。

一月も半ばに入った先々週の土曜日、妻とともに柏崎にある妻の実家へ行ってきました。義父の法要があったのです。

法要といっても七回忌は終わっていません。祥月命日の一週間前にお経を上げていただき、お昼をお寺さんと一緒に食べるだけだったのですが、いい日になりました。

柏崎の家に着いたのは午前10時40分頃でした。

居間でくつろぎながら広間の方を見てみると、広間と南側の廊下とを仕切っている障子戸が急に明るくなりました。そして、障子戸に廊下側のカーテンなどの影が映ったのです。それは一瞬で終わらずに、しばらく続きました。

明るい日差しに誘われて、廊下まで行くと、そこには竹製の座イスがひとつありました。義父も座ったであろうイスには、紫色っぽい模様の布がかけられていました。布に触って確認したわけではありませんが、布は間違いなく温まっています。その何気ない光景がじつと素敵でした。

この光景をのんびり見ていると、お寺さんがお出でになりました。「いいお天気になりましたね。この時期に日が差しているなんて……」

そう言って入ってこられたお寺さんもやはり、私と同じように日差しをうれしく受け止めておられました。

お経が始まったのは一時二〇分頃です。お寺さんの後ろの方に座った私たちの手元にはお経が記載された小冊子が配られ、お寺さんとともに「観自在菩薩。行深般若波羅多蜜時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色……」と

声を合わせました。

お経は約三〇分で終了。その後、お昼になるまでの時間はお茶を飲みながら、鍋焼きうどんが到着してからはそれを食べるながら、みんなで懇談しました。

口火を切ったのはお寺さんです。いくつかの遺影をかけてある長押（なげし）を見ながら、「あの若い人はどなたでしたか」と質問されたのです。義兄が「長男なんです」と答えました。義父の一番上のお兄さんが結核で亡くなられた事は私も聞いていました。ここで参列者の一人が、待ってましたとばかりにエピソードを披露しました。八〇歳を過ぎて間質性肺炎になった義父が「オシは四男だから、死なん」と言っていたという話です。みんな笑いました。

義父の話が出たのはこれくらい。あとは慶福寺の前住職の葬儀、晋山式のこと、最近、あちこちで耳にする「墓終い」や「合同供養塔」の話などが話題に上りました。

その中で私が面白く聴いたのは、お寺さんが永平寺での修業が終わって柏崎まで歩いて帰ってきたという話です。「永平寺から歩いて一〇日かかった。親不知が一番怖かった。あこだけで一日かかった」「車だと遠くに感じるが、歩きなら一〇日で歩ける」「こういった話に引き付けられました。

お寺の関係者のことは私が顔をわからないだけにチンプンカンプンでした。ただ、お寺さんが、「うちの父の母のお姉さんの……」と、自分の手を出し、上から下に家系図をたどるように説明されている姿が強く印象に残りました。

ときたま曇ることがありましたが、この日は日差しが続きました。暖かい日差しの中で、法要とその後の関係者の語らいが淡々と進んでいく。そんな様子を見て、義父もきつと喜んでくれたことと思います。

### 86歳の源市さんも餅つき

吉川区の川谷冬まつりは41回目。13日、餅つき、雪上運動会、サイの神などを楽しみました。

このうち3本の杵を使っての餅つきには86歳の山賀源市さん（石谷在住・写真中央）が今年も登場、元気なところを見せてくださいました。こういう姿を見ると、見ている方も元気になります。

それにしても3本杵の餅で作ったお雑煮、最高の味でした。

写真は13日、私が撮影しました。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月16日(水)	1月23日(水)
上越南消防署	0.067	0.047
上越北消防署	0.057	0.047
新井消防署	0.083	0.050
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.067	0.053
高士分遣所	0.043	0.057
名立分遣所	0.057	0.057

### 各団体が新年の抱負…地区労連旗開き

上越地区労連の旗開きが17日、直江津にて行われました。

今年は県議選、参院選もあり、重要な年になりますが、農協労組、年金者組合などが「安倍内閣の暴走にストップをかける」など次々と新年の抱負を語りました。

日本共産党議員団から

も私と橋本正幸市議が参加し、新年の決意を表明しました。

